

認知症に関する相談

- ・地域包括支援センター ☎5513
- ・在宅介護支援センター トータスホーム ☎2220
ふじやまの里 ☎0958
友愛苑 ☎8885
- ・健康福祉課 高齢者支援係 ☎9102
- ・公益社団法人「認知症の人とその家族の会」栃木県支部 ☎028(627)1122



認知症豆知識

～認知症のシンボルカラー“オレンジ”なぜ、オレンジ??～

認知症の普及啓発のシンボルカラーはオレンジです。もの忘れ・認知症相談医をオレンジドクター、厚生労働省の認知症高齢者の施策をオレンジプランと言います。

また、認知症の人と家族への応援者である認知症サポーターは目印としてオレンジリングを着けています。

では、なぜ認知症=オレンジなのでしょう。

諸説ありますが、江戸時代の陶工・酒井田柿右衛門が夕日に映える柿の実の色からインスピレーションを得て作り出した赤絵磁器が、ヨーロッパにも輸出され世界的な名声を誇ったように、「認知症サポーターキャラバン」のオレンジリングが、世界のいたるところで「認知症サポーター」の証として認められればとの思いからつくられました。

なお、温かさを感じさせるこの色は、「手助けします」という意味をもつとも言われています。「世界アルツハイマー月間」のイベントとして、各地域でオレンジ色のライトアップイベントを行っています。知っている、街の明かりも一味ちがって見えますね。

また、9月の装いのお洒落にオレンジ色をどこかに使うと、「認知症支援」のアピールにもなるので、コーディネートに取り入れてはいかがでしょうか。



自宅で介護をしている家族の話

●Aさん(男性 60代の両親と妻、息子の5人家族)同居している母の話です。

- ・食事をしたことを忘れる。
- ・亡くなった人の話を何度もする(実の姉が亡くなったことも覚えていない)。
- ・キャッシュカードの暗証番号を忘れる(違う暗証番号で覚えている)。
- ・昨日できたことが今日はできない。
- ・ガスを消し忘れる。



こんなことが続いたので、関係機関に相談し、病院に連れて行きました。

後日・・・母はアルツハイマー型の認知症と診断されました。予想はしていましたが、ショックはありました。しかし、時間が経つと共に、段々と気分がすっきりしました。(診断される前はずっともやもやしていました...)受診して、確定診断されて良かった。

これからはもちろん大変だと思いますが、どんな対応をしたら本人の為になるか、認知症の進行を遅らせることができるかなど、前向きな気持ちを持つことができました。今は本人・家族と日々奮闘中です!



▶問い合わせ先=健康福祉課 高齢者支援係 ☎9102

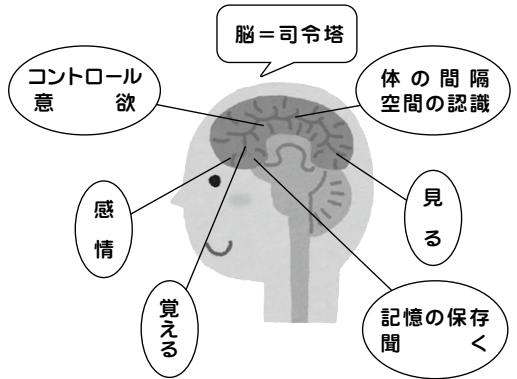
9月21日は世界アルツハイマーデー ～認知症について知ろう!～

9月を「世界アルツハイマー月間」と世界で定め、日本でも公益社団法人「認知症の人とその家族の会」が中心にポスターやリーフレットを作成し認知症への理解を呼びかける活動を行っています。

認知症ってどんな病気?

認知症は加齢による物忘れとは違い、脳の病気です。

病気により脳の色々な場所にダメージを受けるとさまざまな症状が現れます。脳細胞の死滅や活動の低下により、脳の働きに障害が起き、日常生活・社会生活が困難になる状態の総称です。



認知症になると?

下記は認知症の症状の一例です。

●短い間の記憶が無くなる。

食事を朝もりもり食べていても・・・

朝ごはんまだ食べてないよな。何か作っておくれ!



●普段行えていた料理などの段取りができなくなる。

どうやって作るんだっけ??得意料理なおかしいな。



●自分の家の方向や場所・形が分からなくなる。

どうしよう。家はどっちだったっけ...



●日にちや季節が分からなくなる。

今日は何日だったっけ?



●人の顔が分からなくなる。

何言ってるの? わたしよ!お母さん!



はじめまして。どちら様ですか??



★上記のような症状が本人・家族に見られたら、早めに医療機関を受診するか、左記の相談先へご相談ください!